

ボタンウサギと魔法の国
縫々王国

ファンタジーワールドへようこそ①



ナカノカナ

私たちが暮らすこの世界とはちょっと異なった
どこかの世界の小さな国——

平和を愛するウサギの縫いぐるみたちが
楽しく暮らしています。

大昔、精霊の住む森に
空から落ちてきた『ポタン』

それが彼らのはじまりだったと
伝えられています。

精霊によって生命を吹き込まれたポタンが
ウサギの縫いぐるみへと姿を変え
この国が誕生したのです。





中央部





上空より(落下にご注意)

『こちらは縫々王国中央部の上空です。

眼下に広がる緑の一带は、ダマスク平原の農園です。

国内でいちばん大きな河・フランネル川を越えると、芸術の街・デルセンが見えてきます。今日も賑わっているようですね。

そしてその先に見えるのが、かのヌイーンブルク城です！

あっ申し遅れました、わたくし空の案内人・スカイプと申します。好物は妻の作ったキャロットケーキの生クリーム添えです。以後お見知りおきを！』

Nuiennaburg Castle



ボタンの魔女から初代ヌイーン王へ友好の証として贈られたのが、このヌイーンブルク城である。

設計図など無く、一夜にして出来上がったため、当初城の中で行方不明者が続出したといういわくつきの城である。

城主が13代目となった今でも、謎の扉に遭遇することがあるので、注意が必要である。



●ヌイーンブルク城の図。〈ブルク〉に城という意味があるので、この表現では「ヌイーン城城」となってしまうのだが、ボタンウサギは細かいことは気にしない。



●初代ヌイーン王の肖像。玉座の間に飾られている。

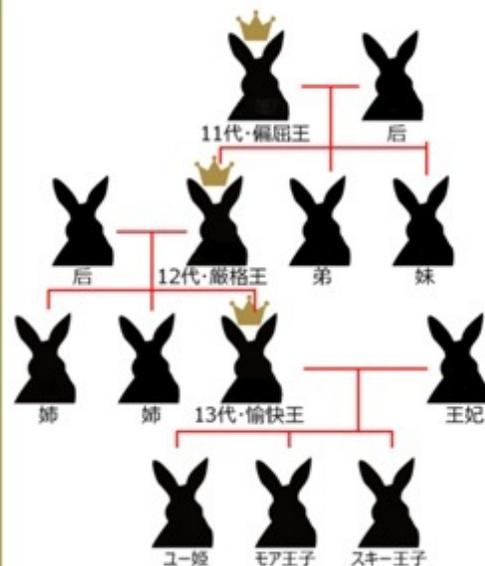
初代ヌイーン王

別名・英雄王

元々王族の生まれではないが、運命に導かれて行動した結果、国の英雄として初代国王の位に就くこととなった。



直近の家系図



第13代国王と后、ご子息たち。
右からユー姫・モア王子・スキー王子。

これは現在のヌイーン国王とその家族の肖像画である。

第13代目国王は別名『愉快王』と呼ばれるほど、面白いことが大好き。先々代の偏屈王も彼の前では笑顔が絶えなかったという。

ただ、愉快的ことを追求するあまり、周りの者が被害を被ることも少なくない。先日は言葉遊びが高じて、家庭教師が放浪の旅へ出される羽目になったとか。現在、モア王子の臨時家庭教師を急募中である。

◆ 王国人形劇場 ◆

あるお城に、王室付の
家庭教師がおりました。
彼の名はロバート。
真面目で勤勉な性格で、
王子の家庭教師として
日々務めておりました



王国人形劇場

そんなある日、国王から
突然下された命令は…



国内をくまなく廻り
面白い話を集めてまいれ!

ガン



ご存知のとおり この国王、
面白い話が大好きな、通称『愉快王』。

こりゃ



愉快じゃ!

とはいえ、家庭教師の自分が
何故旅へ...

3+9=?
『感謝いたす』
違います!

あの時の対応が
まずかったのか...

18+16=?
『三銃士!』

それとも
あの時の...



王子!
だて父上が...

真面目に
思い悩む
ロバート。

そして迎えた
旅立ちの日——

どよ〜ん



国王、行って
参ります...

ロバート、おぬしに
旅のお供を用意した

ほんど!

ウサギウマを
いただけるなんて…!

●ウサギウマ
ボタンウマ目
ウマ科ウサギウマ属

そのウマは
かの国では「ロバ」と
呼ばれておるそうじゃ

その話を聞いて
おぬしの顔が浮かんでの…

じゅん



ロバとロバート

道中転(ころ)ばぬように

なーんてな!

あなたったら!

オホオホホ

...

あれが言いたかった
だけなんだな...



こうしてロバートは
ロバと共に
「おもしろい話」を集める
旅へ出たのでした。

つづく

Dersen, the city of art



◆ 芸術の街・デルセン

中央部の中心となる
街・デルセン。

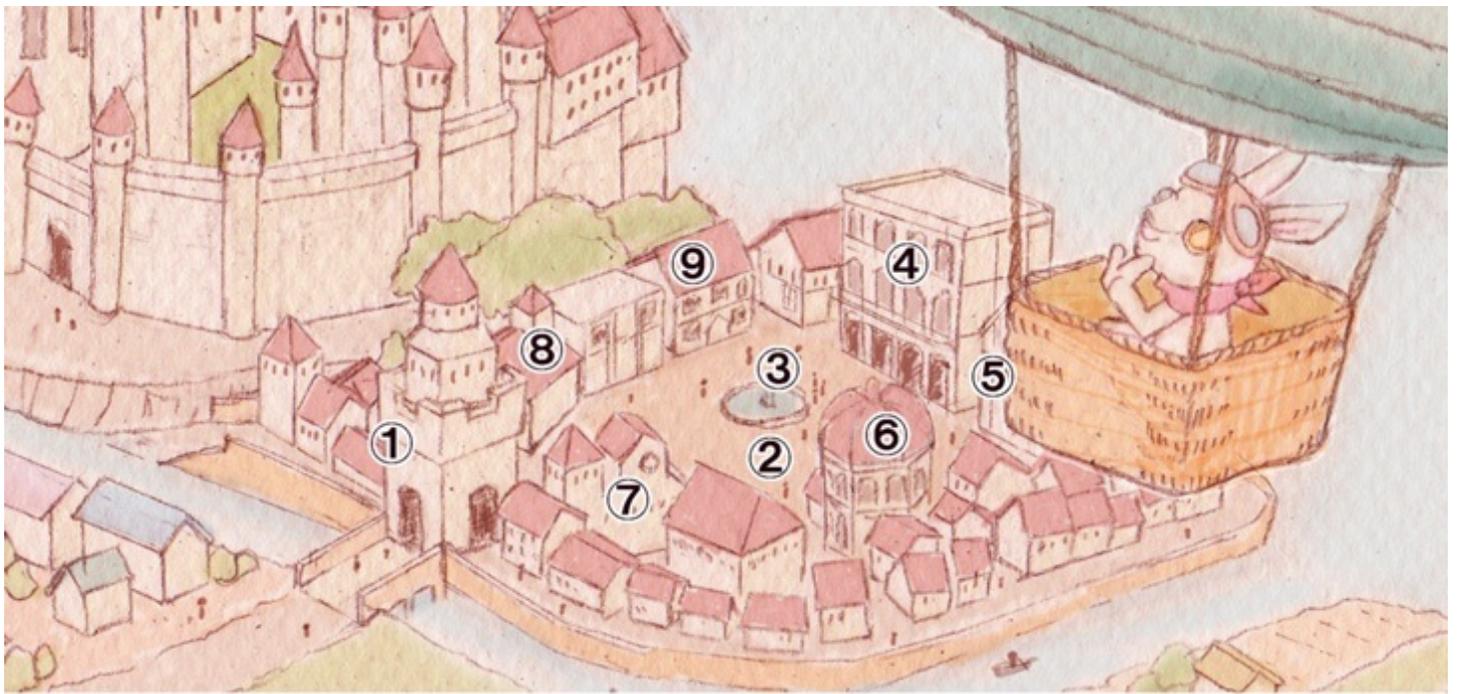
芸術をこよなく愛する
王族のもと、多くの芸
術家たちがこの街に暮
らしている。

博物館や美術館、劇
場などが立ち並ぶ中央

広場では、新人アーティストによる歌やダンス、大道芸などの
ストリートパフォーマンスが見られる。

秋にはカーニバルが5日間にわたって開催され、街全体が多く
の観光客で賑わう。ハイライトは最終日に行われる賑やかなパレ
ード。





主要な施設の紹介

①赤の塔

街の入り口に立つ、大きな塔。
関所と、役所としての役割がある。

②中央広場

デルセンの中心地。

③噴水

いつの間にか魚やカエルが棲みついている。

④中央大劇場

演劇やオペラなどが公演される、歴史ある劇場。中央交響楽団の定期演奏会もここで行われる。

⑤中央美術館

ここに作品が展示されたら、いっちょまえの芸術家と言えよう。

⑥国立博物館

王国の歴史にまつわる資料が盛りだくさん。

⑦学校

♪風が吹いたら遅刻して、雨が降ったらお休みで…♪

⑧国立図書館

国内の全ての書物が揃っている。地下に隠し部屋があり、闇魔法に関する書物が保管されているとの噂がある。

⑨中央小劇場

小規模の公演や、話題の新人公演などが行われる。



●先日小劇場で新人公演が行われた、『双子のマジシャン・デニー&ドリー』

◆ 中央交響楽団 ◆



中央交響楽団は、正式名を『ヌイーン国立中央交響楽団』と言い、国の催しの際には必ず登場する。そのため、容姿も統一されている。ピアニストなどは、王室から個人的に呼ばれ、リサイタルを行うこともある。

中央交響楽団に入団するためにはテストに合格しなければならないが、基本的に欠員が出た場合のみの募集となるので、腕が良くても楽団員になれるとは限らない。先日チェリストの異例の入団があり、話題となった。

楽団員には制服と楽団員証が与えられる。



● 制服姿。左胸に輝く楽団員証。

Damask Plain



◆ダマスク平原

北部から中央部を通過して海へと流れるフランネル川の南側には、ダマスク平原の豊かな土壌を生かした田園地帯が広がっている。

ポタンウサギの中でも、育てることに長けた者たちは、ここで気ままに農業を営んでいる。見事なまでの気ままっぷりだが、生産量は大したもの、国内の農作物のおよそ7割がここで生産されている。



とある農家の一年間



1月 新年の祝いで踊る。



2月 果樹のつぎ木をしながら踊る。



3月 若い枝を棚にくりつけながら踊る。



4月 畑をならすのに飽きたので踊る。



5月 草刈りをしながら踊る。



6月 草刈りに飽きたので踊る。



7月 穀物の収穫をしながら踊る。



8月 脱穀のため踊る。



9月 果実を摘み取り、果実酒づくり。踊る踊る。



10月 穀物の種をまきながら踊る。



11月 果実の収穫をしながら踊る。



12月 薪を作りながら踊る。

あとがき

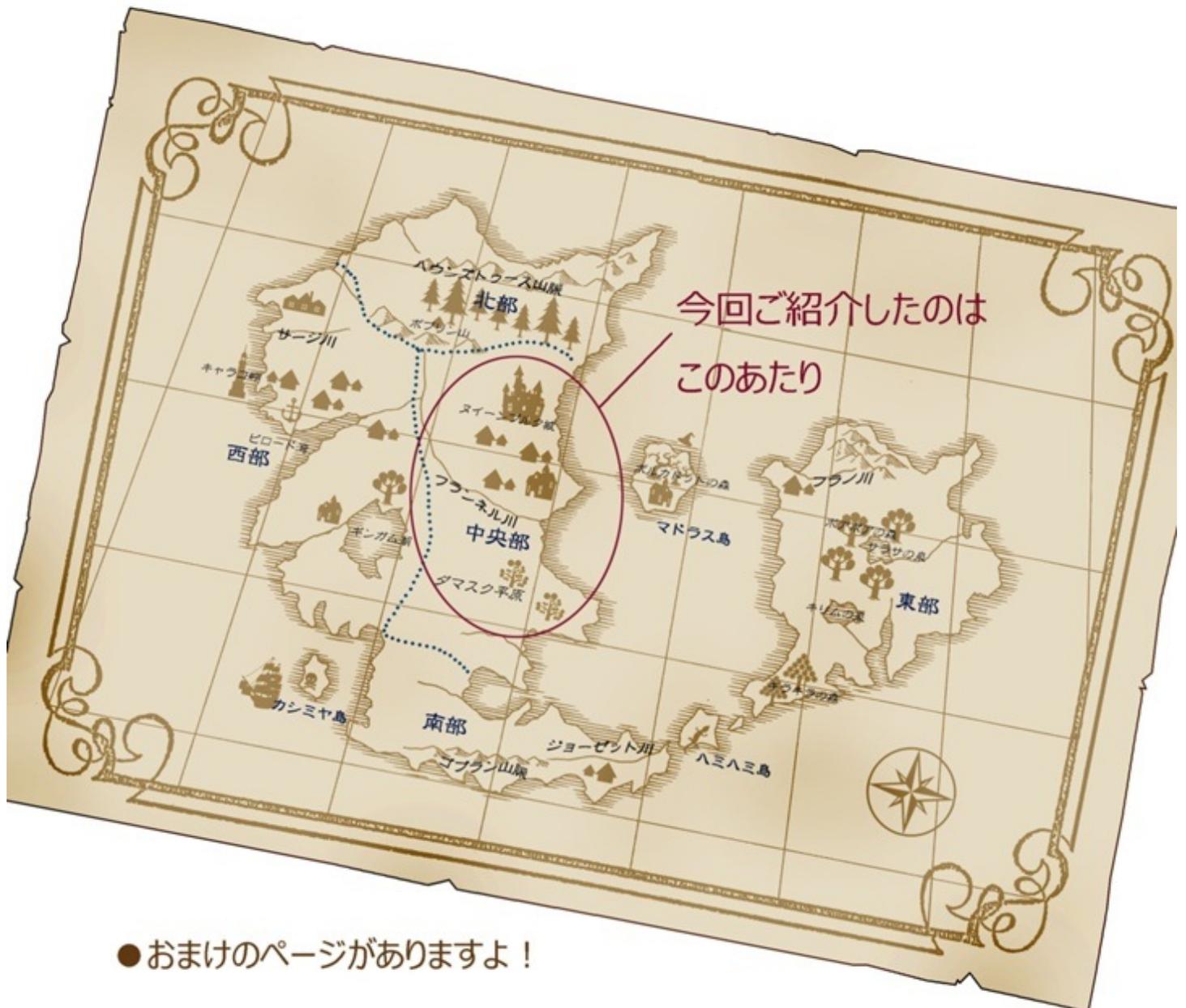
初の縫々王国の物語、楽しんでいただけましたでしょうか。

今回ご紹介したのは、縫々王国の、ほんの一部分。

ほかにもご紹介したいことや、登場したがつているボタンウサギたちが
まだまだたくさんいるんですよ。

もっと見てみたい！という方は、ぜひ次回も よろしくおつき合ください。

それではごきげんよう♪ 【縫々王国】クリエイター・ナカノカナでした。



● おまけのページがありますよ！

カーニバルのパレード

旅の道中に出会った、自称・道楽貴族のレオナルド氏と共に、パレードに参加することになったロバート。

初めは乗り気でなかったが、周りの歓声にだんだんテンションが上がってきて、すっかりその気になっちゃっている様子。



ボタンウサギと魔法の国

【縫々王国】

～ファンタジーワールドへようこそ①

<http://p.booklog.jp/book/79694>

著者：ナカノカナ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/nakanokana/profile>



【縫々王国】 ホームページ：<http://www.nui-nui-kingdom.com/>

【縫々王国】 著者ブログ：<http://ameblo.jp/nui-nui-kingdom/>



感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/79694>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/79694>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ